

眼科	
診療科目：眼科	
診療科担当研修責任者名： 福地 健郎（眼科診療科長） 診療科連絡先担当者名： 赤木 忠道（眼科エデュケーションマネージャー）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：5人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
17人（大学に在籍する専門医の数）	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
日本眼科学会指導医3人（大学に在籍する指導医の数）	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
新潟大学眼科は明治43年新潟医学専門学校の創設とともに開講された。100年以上の歴史を有する日本でも数少ない眼科学講座の一つである。教室の主たる特色たるテーマは緑内障であり、基礎研究実績をこれまでに多数積み上げ、緑内障研究の第一線を歩んできた。臨床的にも県内外から多くの患者が来院し、非常に高度な緑内障診療が日常的に行われている。また、その手術実績は国内1、2を争い、その存在は際立っている。また緑内障だけでなく網膜・硝子体、角膜・感染症、斜視・弱視、神経眼科、腫瘍・形成、ロービジョンなど多数の分野それぞれに秀でた専門医を揃えており、そのいずれもが優れた臨床成績を誇っている。関連病院は新潟県内全域に及んでおり、一流の眼科医を目指すに足る充実した後期研修を受けることが可能である。	当科では疾患別に診療チームが構成されており、緑内障班、網膜・硝子体班、角膜・感染症班、斜視・弱視班、白内障班、神経眼科班、腫瘍・形成班がある。研修中は1グループを1か月交代で担当するが、研修期間により診療班の重複や交代時期をflexibleに対応することも可能である。当科手術日は月・水・金曜日であり、各グループで手術日が異なるが、他のグループの手術見学も可能である。術前・術後・難症例に対する診療科長を含めた回診が毎週水曜日に行われる。症例検討会も同日に行われ、研修期間中、担当患者の症例発表も行う。その他の曜日は、外来と病棟研修になる。外来も多くの専門外来があるため、見学だけでなく処置の助手等も担当することになる。どのグループに属しても細隙灯顕微鏡や倒像鏡など最も基本的な眼科診療手技を身につけるとともに、視野検査や眼底造影検査などの所見を判読するトレーニングも行う。